

コロナウイルス感染症
(COVID-19)に対する
わが社の取り組み

■ 新年のご挨拶

- ・山口 敬三会長
- ・井戸 敏三兵庫県知事
- ・協会顧問

REPORT

「学ぶこと」と
「働くこと」をつなぐ
高校生インターンシップ
職業体験レポート



この表紙は当協会の業界紹介パンフレットをモチーフに兵庫県をデザインしたゆう和の新しいイメージとして表現しております



一般社団法人 兵庫県空調衛生工業協会
tel.078-341-0991 fax.078-341-0874
http://www.hyogo-kuei.or.jp

私たちは、兵庫県と防災協定を結んでいます。
ライフラインを守り、災害時の復旧に尽くします。

編集後記

ゆう和二〇二一年冬号をお届けします。
昨年は「コロナ禍」により世の中が大きく変わり皆さんにおいても忙しく大変な年であったと思います。
広報委員会においても緊急事態宣言中は、本誌の編集作業をリモートにて行いました。例年のように集まって情報交換が出来ず淋しく思う所もありましたが、今回は通信環境のテストや、事前の資料の配布、確認をする事でスムーズに委員会を開催する事が出来ました。
最後になりましたが、一年前のように膝を突き合わせて語り合ったり、マスク無しで笑い合う事が難しい状況が続きますが、知恵を絞り工夫を凝らして良い情報発信が出来るようにしたいと思いますので引き続き皆様のご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

広報委員 青柳 淳

編集スタッフ

■ 広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 橋本 白民 |
| 副委員長 | 松本 雅穂 |
| 副委員長 | 藤岡 建也 |
| 委員 | 青柳 淳 |
| 委員 | 近藤 正也 |
| 委員 | 塚田 忠義 |
| 委員 | 久野 大介 |
| 委員 | 岡田 裕之 |
| 委員 | 前川 裕春 |
| 委員 | 杉田 晃一 |
| 委員 | 原田 高幸 |

担当副会長





(一社)兵庫県空調衛生工業協会
会長 山口 敬三

二〇二二年(令和三年)の新春をお慶び申し上げます

会員、賛助会員の皆様、あけましておめでとうございます。

二〇二二年、丑年を迎えまして令和の元号も三年目の歩みを始めました。

まず思い出されるのは、高村光太郎の「牛」です。「牛ハノロト歩ク 牛ハ野デモ山デモ道デモ川デモ 自分ノ行キタイトコロハハ マスグニ行ク」正にゆつたりと力強く牛が歩んでいるような詩です。二歩一歩あゆみは遅くとも着実に前に進む牛の姿に、自分自身の生き方の理想を重ねた詩だと思えます。

考えますと、地域社会に根づく空調衛生業界も高村光太郎の「牛」と共通点が多くあります。当協会の活動・あゆみも、ゆつくりでも確実に目的に向かつて一歩一歩を進めたいと思います。

思い返せば、昨年は新型コロナウイルス感染症に世界中が振り回された一年でした。国民生活に大きな影響があり、皆様方の企業活動も自粛を余儀なくされ、悔しいと感じてなられたことと思います。

しかしながら、行政・医療従事者・企業のご努力と、県民の犠牲により、新規感染者も死亡者も低水準で食い止め、人類の英知を結集して、何年もかかる

と言われたワクチンがいに開発されました。また、今年はいよいよオリンピック・パラリンピック東京大会を迎えます。猛暑の中の開催で、建築設備の重要性が再認識され、我々のモットーである「進化・深化・真価」が次の大阪万国博に繋がることを願う年頭です。協会の取組にご協力をお願いいたします。

新しい年も感染症の蔓延に加えて、集中豪雨や最高気温の記録更新など、大きな災害も懸念されますが「牛ハ急グコトヲシナイ 牛ハ力一パイニ地面ヲ頼ツテイク」我々空調衛生業界の重要性が期待され、関係行政機関とのさらなる連携による役割の発揮が求められます。協会活動を基盤に「すこやかな兵庫の実現」に向けて、尽力してまいりたいと思います。

当協会として、関係行政機関などとの意見交換・交流を層進め、それぞれの委員会活動を中心に、芽吹いてきている事業のさらなる推進にあたることでできればと考えております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

新時代の兵庫を開く新しい一歩を踏み出す丑年、二〇二二年の初めにあたり、兵庫県空調衛生工業協会の新たな息吹を期するとともに、皆様にとっても素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



兵庫県知事

井戸敏三

危機を乗り越え、ポストコロナの新時代に挑む

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスとの戦いの年でした。しかし、未だ終息にはほど遠い状況です。一方、コロナ禍は社会を変革する契機ともなりました。県民とともにこの危機を乗り越え、地域創生やデジタル化に力強く取り組み、ポストコロナ社会を先導する活力あふれる兵庫をめざします。令和三年は本格的に歩みを進める年とします。

第一は、新型コロナウイルス対策の充実。自宅療養ゼロを堅持しつつ、入院病床や宿泊療養施設を十分に確保します。マスク着用の徹底、検温の実施、外出抑制、感染リスクの高い施設の利用を控えるなど、家庭、職場、施設へウイルスを持ち込まない地道な取り組みが何より大切です。一人ひとりの行動が大切な家族や友人、仲間の命を守ることにつながります。是非、ご協力をお願いします。

第二は、兵庫の元氣回復。経済の下支えを図りつつ、スタートアップ拠点を活用した起業・創業の支援、新たなサプライチェーンの構築を後押しします。兵庫と東京を専用回線で結び、情報ネットワークに

より東京圏からの企業誘致も促進します。農林水産業のスマート化も急務です。都市部から地方への潮流を捉え、兵庫への呼び込みを図ります。

第三は、安全安心の基盤強化。コロナ禍でも自然災害は待ってくれません。地震・風水害に備える安全な県土づくりを進めます。県民が安心して暮らせる福祉の充実も強化します。

第四は、ポストコロナも見据えた兵庫の未来づくり。二〇三〇年の展望」を具体化する取り組みを進めるとともに、二〇五〇年頃を目標年次とする新ビジョンの策定に向けた検討を加速させます。

我々は、戦災、様々な自然災害など、幾度も危機を乗り越えてきました。阪神・淡路大震災もそうでした。

再び、県民の叡智を結集して、兵庫の新時代をもに築き上げるため、挑戦していこうではありませんか。

コロナ禍を 乗り越えていく 県民の
ひたむきな歩み 夢をめざして



新春号/表紙

CONTENTS

YUWA 2021 WINTER No.027

ご挨拶

(一社)兵庫県空調衛生工業協会 会長 山口敬三
兵庫県知事 井戸敏三

新年のご挨拶

参議院議員 末松信介
兵庫県議員 藤田孝夫
兵庫県議員 松田一成
兵庫県まちづくり部長 出野上聡

協会事業の今後のあり方について

(一社)兵庫県空調衛生工業協会 会長 山口敬三

コロナウイルス感染症(COVID-19)に対するわが社の取り組み

令和2年度 協会事業

県庁だより

「但馬水産事務所庁舎」の機械設備について
「兵庫県立大学情報科学研究棟」の機械設備について

協会事業

「学ぶこと」と「働くこと」をつなぐ 高校生インターンシップ 職業体験レポート
有元温調株式会社
三神工業株式会社
住田建設株式会社
日新工業株式会社
株式会社長村商会
株式会社西尾設備
モノノ株式会社
株式会社山口商会

新会員だより



参議院
自民党国会対策委員長
参議院議員
末松 信介
(参議院兵庫県選挙区選出)



兵庫県議会議員
藤田 孝夫



兵庫県議会議員
松田 一成

謹んで新春のお慶びを申し上げます。お陰様で参議院議員として17回目の新春を迎えました。山口敬三会長はじめ兵庫県空調衛生工業協会の皆様方のこれまでのご厚情に深く感謝申し上げます。

さて、菅総理は初めての所信表明演説で、二〇五〇年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすると言われました。空調設備等で使用されるフロン類は、二酸化炭素の数百〜1万倍以上の温室効果があります。フロン類の漏洩の7割は使用時であり、機器内部の接合部や配管の接続部に起因しております。技能レベルの高い施工技術者による設置工事や維持管理により極力漏洩を防ぐ必要があります。講習会等を通じ、技術力向上を図られている貴協会の活動に心から敬意を表しますとともに、適切な事業者による効率的かつ品質の高い工事を行うためにも、分離発注の推進や実態に則した建設業区分への見直しなども重要になってきます。

また、将来の担い手確保も重要な課題であり、令和二年度より導入された就職氷河期世代向けの「短期資格等習得コース」は約34.7億円(他業種含む)、それ以外の世代向けの「建設労働者育成支援事業」は約5.7億円と、令和三年度もしつかりと予算が確保されました。防災・減災のための国土強靱化対策も、三か年緊急対策に続き、令和二年度3次補正予算より五か年で事業規模15兆円程度を確保し、加速化して実施していくことに決めました。今後とも空調衛生設備工事業業のより一層の発展のために全力を尽くす決意ですので、本年も格段のご指導を賜りたく心よりお願い申し上げます。

結びに当たり、貴協会の益々のご発展と、ご関係者皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



兵庫県 まちづくり部長
出野 上聡

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素は、兵庫県政、とりわけまちづくり行政の推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が広がる中、先行きに対する不確実性が高まった一年でした。コロナ禍では、公園など屋外公共空間の重要性が再認識されました。新型コロナウイルス感染症の収束に向けた見直しは不透明であります。このような環境下においてこそ、既存概念を取り払い、柔軟な発想をもって全力でまちづくり施策を展開していく所存です。

〈魅力と活力あるまちづくり〉
一、都市公園について、新たに策定するリノベーション計画に基づいた施設整備を進めます。また、淡路花博二〇周年記念「花みどりフェア」を春と秋に開催します。

二、令和三年度から五年間延長される県民緑税を活用し、住民団体等が行う緑化活動を支援します。駅周辺などにおいても、高質な緑化空間の創出に努めます。

三、都市計画区域マスタープランを見直し、地域の実情に応じたまちづくりを進めます。地方移住への関心の高まり等の変化も踏まえ、二〇二五年を先取りした空き家対策に取り組みます。三宮再整備や六甲山活性化の動きを神戸市と一体となって加速させていきます。

〈安全・安心なまちづくり〉

一、南海トラフ地震等へ備えるため、耐震化の啓発活動やマンション耐震化等への支援を充実し、住宅の耐震性向上に取り組みます。あわせて、ホテル等不特定多数が利用する建築物への耐震化を支援します。

二、福祉のまちづくり基本方針を改定し、駅舎のエレベーターやホームドアの設置を促進します。
三、ひょうご県営住宅整備・管理計画を改定し、社会ニーズに対応した県営住宅の整備・管理を推進します。また、市町と連携した建替整備の検討を進めます。

今後、兵庫らしいまちづくりを推進してまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを祈念いたします。

健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆様には、心から見舞い申し上げます。

昨年はコロナ対策に追われる一年でした。兵庫県・県議会では2回の臨時議会、8回の県補正予算(72億円)にて70床の専用病床・8か所の地域外来検査センターの整備、軽症者用宿泊施設90室確保等により10万人あたり感染者数は他府県より抑えられている状態です。派手さはありませんが、冷静にして正確な情報発信と堅実な対応策を取って参りました。また県民の皆様のご理解、ご協力に改めて感謝申し上げます。空調衛生工業協会の皆様におかれましては、自社のコロナ感染症対応に加え事業所の換気機能付きエアコン整備事業など、県事業へのご支援ご協力をいただきましたことに御礼申し上げます。

本年はいよいよポストコロナ社会の実現へ向けて動き出さねばなりません。コロナ禍でテレビ会議やリモートワークを経験し、多くのことがデジタル化できることも実感しました。一方で微妙なニュアンスや場の雰囲気、匂い、空気感などは伝わりにくく、あらためて同じ場所と時間を共有することの大切さを実感しました。

人・物・資金の集中による効率性追求一辺倒から、デジタル化(指標の一元化)による労働成果は場所や時間を選ばず更に明快になります。人と人が会うことの重要性は感染症への懸念がクリアされても、更に貴重で価値高きものになります。

兵庫県の個性あふれる五国が、この変革のチャンスを実際に捉えていかねばなりません。もちろん空調衛生工業協会の皆さんは空調・衛生設備のプロとしてこの機を逃さぬよう技術革新や発想の転換・工夫など更に知恵を出し合いながら時代が求める機能を追求されることと存じます。私も微力ながら協力させていただきます。

新しい年が皆さんにとりまして新たな目標達成と繁栄の年となりますことをご祈念申しあげ年頭の挨拶とさせていただきます。

令和三年の開幕に当たり謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は世界危機とも言える新型コロナウイルス感染症が発生し三月一日には県内初めて陽性者が確認されました。

四月には緊急事態宣言がなされ多くの医療資源や保健所等の対応能力が必要となるパンデミックに對しての備えは十分だったとは言えない状況でした。

そして臨時休校や外出自粛要請、休業要請等により消費の低迷や景気の悪化が深刻さを増し、地域経済、雇用情勢に甚大な影響を及ぼしました。

又 憲政史上歴代最長となった安倍政権から菅内閣が発足し、新型コロナウイルスへの対応、経済の立て直し、次なる社会に向けデジタル庁の設置、二〇五〇年迄に温室効果ガスを実質0にする脱炭素社会をめざす展望等が示され新しい社会の構築に向け船出しました。今こそ気候変動や核軍縮等地球的課題は自国中心主義から地球民族主義に考え直す時期です。

本年も新型コロナウイルスとの対応と経済活動の両輪の舵取りに苦慮する1年になりそうですが人類が全ての英知を結集しこの難題を克服しなければなりません。

一方、生活様式が大きく変化し人口減少とともに労働力不足が懸念されています。今後テレワーク等の普及が進み東京圏から地方分散への流れを作り地方創生を大きく加速させるチャンスです。

そうしてコロナの影響により民間投資が期待出来ない間、様々な支援策を講じ公共事業前倒し等総力を上げ経済回復を推進しなければなりません。

最後に兵庫県空調衛生工業協会の益々のご発展と御健勝をお祈りして年頭の挨拶とさせていただきます。

協会事業の今後のあり方について

(一社)兵庫県空調衛生工業協会

会長 山口 敬三

今年の干支は丑、牛は群生動物で仲間とともに行動する習性があり、当協会の役割も牛の群れのような役割を担っていると考えています。

一昨年には創立四〇周年を祝い、喜び、会員相互の連携発展を確かめ合いましたが、昨年は、新型コロナウイルス感染症のため、春の総会懇親会、夏の「はじめての建築設備コース」とゆう和号外、冬の新年交礼会等々の主要な事業が中止となり、協会活動に大きな空白ができた残念な一年でした。

四～六月は全委員会が休止に追い込まれ、理事会は書面議決とするなど、協会活動が大幅に停滞しましたが、七月からは理事会も再開し、各委員会も右の委員長報告の通り集中的に協議しました。

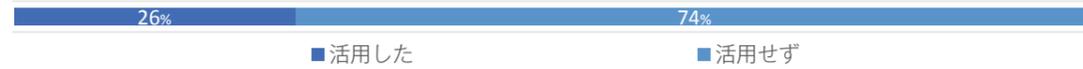
また、会員の人脉を生かして当時枯渇していたマスクを中国から調達して全会員・賛助会員に配布したり、会員企業のご協力により調達・確保した医療用防護資材を県に寄付するなど、例年のない取り組みもできました。

日本でもワクチン接種が始まるとは言え、イギリスでは、新型コロナウイルス感染症の変異種が出現するなど、予断は許さないものがあります。

困難な時ほど、その人の真価が、その組織の結束力が問われると言います。二〇二一年度の協会活動も、例年通りの進め方は困難と思われませんが、皆様の理解を戴き、各委員会で創意工夫しながら、ご期待に応えられるよう取り組んでまいりますので、何卒ご賢察とご協力をよろしくごお願い申し上げます。私からのお詫びの辞とさせていただきます。

- 予算特別委員会報告 委員長 原田 高幸
新年交礼会や総会懇親会に代わる行事等、予算の有効活用を検討しています。
- 総務委員会報告 委員長 高谷 俊則
新年交礼会や総会懇親会はやむなく中止としましたが、代替行事の検討や例年の若年者等表彰を行う準備を進めています。
- 技術環境委員会報告 委員長 平岡 秀文
各会員のご協力で前年超えの24名が実力テストを受検し技術環境委員会研修も開催できました。来年に向けて、感染リスクを避けるweb研修会等を検討します。
- 経営開発安全委員会報告 委員長 林 藤雄
安全衛生大会は各会員1名参加とし、チャリティー親睦ゴルフ大会の表彰式自粛などコロナ対策に苦心しました。
- 広報委員会報告 委員長 橋本 白民
主要事業中止のため、号外発行は見送り、今号のゆう和発行に注力し、ここに披露することができました。会員にご協力戴いた新型コロナウイルス感染症対策アンケートの特集記事を組みましたので、ご覧いただければ幸いです。
- 未来ビジョン委員会報告 委員長 高井 豊司
新型コロナウイルス感染症による休校の影響で、はじめての建築設備コースは断念しました。来年に向けた同コースの準備や特別支援学校の調査等を進めています。

㊦ 融資制度を活用しましたか。

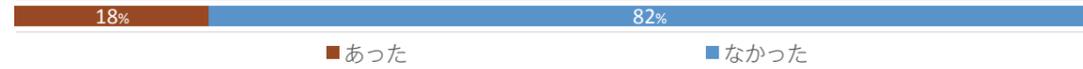


※融資制度を活用した26%の会社は、コロナ対策貸付、無利子資金をそれぞれ半数程度の方が利用されています。

㊧ 仕事減の影響はありましたか。



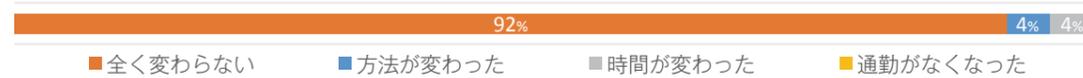
㊨ いわゆるコロナ特需はありましたか。



※コロナ特需があったと回答した18%の会社は、主に、自動水栓の工事、換気機能付きエアコンの工事が増えたと回答。

新型コロナの影響について

㊩ あなたの通勤方法は変わりましたか。



㊪ 買物方法は変わりましたか。



㊫ 新型コロナの流行を機に、何か始めたことや止めたことがあればご記入ください。

〈始めたこと〉

- ウォーキング ● こまめな消毒 ● マスク、手洗いの励行
- アルコール除菌スプレーの携帯 ● ギター ● 体温測定
- 自宅内トレーニング

〈止めたこと〉

- 電車等公共交通機関の利用 ● 飲食会等会合への参加
- 都会(神戸・大阪など)への外出 ● ゴルフ
- トレーニングジム通い ● 旅行



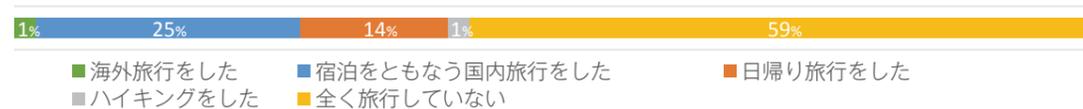
㊬ 私的な懇親会(職場や友人等)に参加しましたか。(4月~11月)



㊭ 公的な懇親会(祝賀会・忘年会・新年会・同窓会等)について(4月~11月)



㊮ 旅行や遠出をしましたか。



㊯ PCR検査を受検しましたか。



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する

わが社の取り組み

2020年1月16日、日本国内初の感染者として、中国武漢への渡航歴のある男性が報告されました。3月1日、厚生労働省は、これまでの集団感染事例に、スポーツジム、屋形船、ブッフスタイルの会食などがあつたとし、「換気の悪い密集空間」、「3つの密」に行くことを避けるように勧告しました。4月3日には国内感染者が3,000人を超え、第二波により7月下旬に30,000人に、第三波により1月下旬に400,000人に達し、現在もさらに拡大の勢いを増しています。私たち自身が自覚を持ち、対策を講じる必要があるようです。今回、当協会会員の方にアンケート調査を行い、各社の取り組みや現状についてお答えいただきました。11月上旬に実施したアンケート調査の結果をご紹介します。

会社の体制について

㊰ テレワーク・時差出勤をしましたか。



㊱ 雇用調整を実施しましたか。



※61%がテレワークや時差出勤を行っています。テレワークが可能な業務については、多くの会社で採用されています。

職場環境・福利厚生面について

㊲ 従業員にマスクや消毒薬を支給しましたか。



㊳ 現在、感染症対策としてどのようなことをしていますか。(複数回答可)



㊴ 職場の設備等を変更しましたか。(38%の会社が職場設備を変更し、下記の変更を主に行いました。)

- 空気清浄機の追加設置 ● 紙のハンドペーパー設置
- デスクトップパソコンをweb会議や在宅勤務用にノートパソコンに変更 ● オゾン除菌装置を設置
- 手洗いや流し関係を自動水栓に変更 ● サーキュレーター設置 ● 自動消毒噴霧器設置
- アクリルのパーテーション設置 ● 網戸設置 ● 昼食場所の入室人数制限および離隔距離の確保と、会話の自粛

経営状況について

㊵ 経営成績に影響が出ていますか。



㊶ 将来への不安はありますか。



㊷ 助成金を活用しましたか。



活用した方におたずねします。どの助成金を活用しましたか。



4. 委員会活動

■ 実力テスト 令和2年7月19日(日)

令和2年度1級管工事施工管理技術検定学科試験に向けた受験前講習として実力テストを開催しました。今年度は昨年を上回る24名が、新型コロナウイルス感染症対策のため、それぞれが所属する会社の会議室に集まり、8会場での分散開催となりました。



■ 令和2年度安全衛生大会 令和2年10月1日(木)

新型コロナウイルス感染症対策として、1会員につき1名参加でマスク着用を原則とし、経営開発安全委員や技術環境委員が手分けして健康・体温チェックに努め、神戸市勤労会館で参加者68名を集めて、同大会を開催しました。

兵庫県福澤設備課長の来賓祝辞や兵庫労働局野竿安全係長による労働安全衛生講話の後、参加者が次の労働安全・衛生スローガンを確認して、今後のさらなる努力を誓いました。

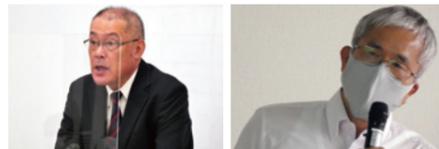
安全スローガン:エイジフレンドリー職場へ! みんなで改善 リスクの低減
衛生スローガン:みなおして 職場の環境 からだの健康



■ 技術環境委員会研修 令和2年10月1日(木)

安全衛生大会の第2部として賛助会員2社から講師を迎え、以下のテーマで技術環境委員会研修を開催しました。

- KFE・SDPの近距離無線通信対応「KAWAMOTOi」について (株)川本製作所 笠置 健太氏・田中 宏樹氏
- エコアクション21とは (エコアクション21サポーター 横山 正和氏)



■ 令和2年度チャリティー親睦ゴルフ大会 令和2年11月10日(火)

センチュリー三木ゴルフ倶楽部で恒例のチャリティーゴルフ大会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策に配慮して表彰式と順位賞を取り止めたため、盛り上がるか心配でしたが、当日は快晴に恵まれ、参加者46名はプレーを通じて相互の親睦と情報交換を図りました。



■ 令和2年度チャリティー募金贈呈 令和2年11月30日(月)

前記のチャリティー親睦ゴルフ大会で集まったチャリティー募金については、山口会長が(公財)兵庫県青少年本部を訪問して、梅谷理事長に手渡し、知事からの感謝状を受領しました。



■ 特別支援学校訪問 令和2年11月24日(火)

西神戸特別支援学校(西神)で開催された学校見学会及び障害者雇用に向けての企業説明会に、山口会長・高井未来ビジョン委員長・北角専務理事が出席し、就学状況を見学するとともに、県立高等・阪神昆陽・姫路・西神戸特別支援学校関係者と情報交換を行いました。



■ 明石商業高校訪問 令和2年12月2日(水)

山口会長、高井未来ビジョン委員長・北角専務理事、(株)ノーリツ尾崎氏が明石商業高校を訪問して、同校の就職状況に係る情報収集・意見交換を行いました。



令和2年度
会長表彰
(若年者等表彰)

伊丹産業電設株式会社 大下 真也 様
岡井 智大 様
株式会社イトーヨーギョー 西奥 巧 様

※今年度は総会懇親会が中止となったため、所属する会社で表彰状・記念品の伝達が行われました。



大下 真也 様



岡井 智大 様



西奥 巧 様

1. 行政関係者との意見交換

■ 第1回行政懇談会 令和2年8月20日(木)

河本県土企画局長、佐藤住宅建築局長をはじめとする兵庫県幹部と山口会長、小山会長以下、当協会・電業協会の正副会長・各委員長等による第1回行政懇談会が開催され、当面する以下の課題等について協議しました。

- 建設労働者育成支援事業をはじめとする働き方改革
- 入札参加資格者制度の改正 等



■ 公明党政策要望懇談会 令和2年7月27日(月)

兵庫県議会公明党議員団松田団長以下公明党議員との同懇談会が新型コロナウイルス感染症対策のためリモート方式で開催され、山口会長、原田副会長、高谷総務委員長が意見交換と要望活動を行いました。



■ 自民党各種友好団体との政策要望に係る意見交換会 令和2年9月4日(金)

兵庫県議会自民党議員団産業労働部会の藤田部会長、総務部会の水田副部会長等と当協会の山口会長、原田副会長、北角専務理事が意見交換会を開催し、以下の項目について要望活動を行いました。

<要望項目>

- 建設労働者育成支援事業の継続
- 安定的な工事量を確保できる設備予算の充実について 等

■ 特別講演会 令和2年8月6日(木)

ポストコロナ時代の兵庫の展望をテーマとして、金澤副知事を講師に迎えて、特別講演会が東急REIホテルで開催され、山口会長、原田副会長、高谷総務委員長、北角専務理事が聴講しました。

■ 新型コロナ最前線対話 令和2年9月14日(月)

山口会長、原田副会長が兵庫県民会館で金澤副知事に対して、建設労働者育成支援事業の継続を要望しました。

2. 協議会等の実施

■ 兵庫県建設業育成魅力アップ協議会 令和2年7月3日(金)・11月30日(月)

山口会長が委員として参画している同協議会が、兵庫県職員会館と神戸市教育会館で2回開催され、工業高校インターンシップ受入れの報告など、担い手確保の取り組み状況に係る情報交換を行いました。

■ 兵庫県建設産業団体連合会 令和2年11月12日(木)

山口会長、原田副会長が理事として参画している同協議会理事会及び兵庫県県土整備部との意見交換会が、兵庫県民会館で開催され、意見交換を行いました。

3. 協会活動での新型コロナウイルス感染症対策

■ マスク配付 令和2年5月7日(木)

会員のご尽力により海外より調達したマスクを全会員に各1箱(50枚)発送しました。

■ 医療用防護資材の寄付 令和2年5月18日(月)

会員のご尽力により国内外から調達した医療用防護資材(フェイスシールド・マスク・ゴーグル)を県健康福祉部健康局業務課に寄贈し、知事からの感謝状を受領しました。



■ メール便やWEBを活用した会議

最初の緊急事態宣言が出された4月~6月には、理事会は資料をメールで送付して、全理事が同意書を提出する方式(みなし議決)により開催しました。2度目の緊急事態宣言が出された1月後半から、理事会や委員会はリモート方式により開催しています。

また、東京都内で開催される日本空調衛生工事業協会の理事会や事務局代表者会議等の会議にもリモート方式で参加して、情報収集を図っています。

「但馬水産事務所庁舎」の機械設備について

兵庫県県土整備部住宅建築局設備課 主幹 絹川 茂樹

1 但馬水産事務所庁舎について

「但馬水産事務所」は、日本海の豊かな水産資源の管理、漁業や漁場の整備を通じた産業の担い手づくりの推進、漁業や水産加工業の経営基盤を充実させる施策等、に取り組んでいます。更に、自然災害時における水産基盤盤旧や、北朝鮮ミサイル発射時の県内漁業者の安全確認など、危機管理業務も担っています。

但馬水産事務所は昭和38年に竣工し、築55年を迎え老朽化が著しく、震度6〜7程度の地震で倒壊又は崩壊、機能停止に至る恐れが耐震診断で判明し、早急に建替える必要がありました。

また、平成10年度まで同一敷地に隣接していた試験研究機能を有する「但馬水産技術センター」が離れた場所へ移転し、行政機能と試験研究機能が分断されたままとなっていました。

これらの課題を解決するため、但馬水産事務所を但馬水産技術センターの隣接地へ移転し、自然災害時における「水産復興拠点」と漁業関連業者からの要請に「ワンストップ」で対応できる「水産振興拠点」を一体的に整備することになりました。

機械設備の「コンセプト」

次の三つの柱を「コンセプト」に整備しました。

- 1 環境に配慮した施設づくり
- 省エネルギーに配慮し、排気を含む熱を回収して室内の温度変化を抑える全熱交換型換気システムを事務室や会議室等に設置した。
- 水道料金の削減に配慮し、節水型洋風大便器や自動水栓等を設置した。

2 利用者にやさしい施設づくり

- ・トイレの洋式便器に温水洗浄暖房便座を設置し、多目的トイレにはオストメイト対応トイレパッドを設置するなど、ユニバーサル化に配慮した。
- 3 災害に強い施設づくり
- ・海岸（日本海）から約50mと近いため、塩害や積雪だけでなく津波による浸水被害を想定し、設備機器類を高上げした。

機械設備の施工

1 空調設備

- ・事務室や会議室等の各室には、ビル用マルチエアコンやパッケージエアコンを設置し、メンテナンス性を考慮して天井カセット形や天吊形とした。冬季の室内空気の乾燥に配慮して加湿機能を付加した。
- ・空調対象室（事務室、会議室等）は全熱交換型換気システム、非空調対象室（トイレ、書庫、倉庫等）は天井扇・シロッコファンを設置した。
- ・長寿命化対策としてエアコン室外機は耐重塩害仕様とし、OA機器等への塩害対策として外気取入れ経路に除塩フィルターを設置した。
- ・積雪対策として、エアコン室外機に防雪



【南面】



【カニの爪を模したガラリ】



【空調高上げ防雪フード】



【1階 多目的トイレ】

- ・フードを設置した。
- ・津波により想定される浸水高さ（0.3m未満）を考慮し、コンクリート基礎（高さ300mm、建築工事）の上に鋼製（高置）架台（高さ500mm）を固定。その上にエアコン室外機を設置した。
- ・スワイガー等の豊かな水産資源を守り育てる事務所のため、スワイガーの口やハサミをモチーフとした換気用排気ガラリを設置した。

2 給排水衛生給湯設備

- ・給水本管から引き込んだ既設給水管を分岐し、量水器を設置して直圧給水とした。
- ・汚水雑排水設備は、屋内分流、屋外合流方式とした。
- ・高低差の関係から自然流下で排水できないため、建物近傍に汚水槽付排水ユニットを設置し、既設の合併浄化槽へ圧送した。
- ・洋式大便器は温水洗浄便座付とし、床清掃に配慮して小便器は自動洗浄壁掛タイプとした。
- ・地域性に配慮しトイレ内の洗面やオストメイト機器に電気温水器を設置した。
- ・冬季の凍結を防ぐため不凍水栓柱を設置した。

●おわりに

厳しい工期の中、施工者の皆様には、機器・配管タクトの納りをスピーディに調整し、創意工夫と施設管理者の要望への真摯な対応で、無事に完成を迎えることができました。施工者の皆様をはじめ、ご協力いただいた全ての関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

施設概要	
建築名称	但馬水産事務所庁舎
●建設場所	美方郡香美町香住区境1126番5
●防火対象物	消防法施行令 別表第一 15項
●延べ面積	1,260.56㎡
●構造階数	RC造2階建
●総事業費	約4.4億円
●工期	平成31年3月 ～令和2年5月
●設計	兵庫県県土整備部住宅建築局 営繕課・設備課 株式会社 黒田建築設計事務所
●監理	兵庫県県土整備部住宅建築局 営繕課・設備課
●施工者	【建築工事】株本建設工業株式会社 【電気設備工事】株式会社坪内電気 【機械設備工事】高見設備株式会社 【昇降機設備工事】フジテック株式会社

「兵庫県立大学情報科学研究棟」の機械設備について

兵庫県県土整備部住宅建築局設備課 主幹 森兼 靖公

情報科学研究棟について

兵庫県立大学は、総合大学の持つ利点と特徴を活かした教育と研究を通じ、新しい時代を担う専門能力と幅広い教養を備えた人間性豊かな人材育成に努めています。

更なる社会のニーズへの対応と魅力ある教育研究を一層推進するため、平成31年4月に既存学部を再編し、高度情報処理のカリキュラムを主体とした「社会情報科学部」を新設しました。

これに伴い、企業等から提供されるデータを分析処理する「データ演習室」、データを基に学生が課題演習に取り組む「セミナー室」、企業研究機関との共同研究等に活用する「共同研究室」、学生の自発的な学習や交流に活用できる豊かな共用スペースを備えた「ラーニング commons」等で構成された「情報科学研究棟」を、神戸商科キャンパス内に整備しました。

機械設備の「コンセプト」

「環境に配慮した施設づくり」、「利用者にやさしい施設づくり」を「コンセプト」に機械設備を整備しました。

1 環境に配慮した施設づくり

- ・空調料金の削減と快適性に配慮し、排気を含む熱を回収して室内の温度変化を抑える全熱交換型換気システムを設置した。
- ・上下水道料金の削減に配慮し、節水型洋風大便器や自動水栓等を設置した。

2 利用者にやさしい施設づくり

- ・自由で開放的な空間を有する「ラーニング commons」は、一部吹き抜けの大空間と大階



【南東側から見た建物外観】



【大階段の床暖房パネル】

施設概要	
建築名称	兵庫県立大学情報科学研究棟
●建設場所	神戸市西区学園西町8丁目2番1
●防火対象物	消防法施行令 別表第一 (七)項
●延べ面積	3,201.65㎡
●構造階数	RC造4階建
●総事業費	約12億円
●工期	平成31年3月 ～令和2年2月
●設計	兵庫県県土整備部住宅建築局 営繕課・設備課 株式会社 石本建築事務所
●監理	兵庫県県土整備部住宅建築局 営繕課・設備課
●施工者	【建築工事】明石土工業株式会社 【電気設備工事】東洋電気工事株式会社 【機械設備工事】株式会社ダイユウ設備 【昇降機設備工事】日本エレベーター製造株式会社

段を利用した階段教室の構造であるため、大空間には床吹き出し空調システムを、大階段には輻射熱効果のある床暖房パネルを設置した。

- ・フィルター掃除のしやすさに配慮し、天井カセット型エアコンに自動昇降パネル方式を採用した。
- ・エアコンや換気システムの消し忘れ防止に配慮し、一括発停が行えるよう、保安室に集中管理リモコンを設置した。
- ・洋風大便器には温水洗浄暖房便座を、多目的トイレにはオストメイト対応トイレパッド（電気温水器組込）を設置した。
- ・万一の火災時における消火活動の負担低減に配慮し、コンパクトで操作性が良い広範囲型2号消火栓を設置した。

●おわりに

周囲関係者からの期待が高まる中、施工者の皆様には、施設管理者等からの要望に真摯に対応していただきました。また、同時期に隣地に建設した学生寮新築工事との円滑な工程調整等や施工者の創意工夫により、無事計画通りに完成を迎えることができました。施工者の皆様をはじめ、ご協力いただいた全ての方々に厚くお礼を申し上げます。

「ビジネス道」の座学から災害の脅威を学ぶ 『北淡震災記念館(野島断層保存館)』見学まで

住田建設株式会社

昨年引き続き、兵庫県立兵庫工業高等学校様より2名の生徒を受入れました。コロナの感染拡大に伴い、学校行事も変更を余儀なくされる中、就業体験インターンシップの実施を決められた事は、学校側の就業体験を重要視している表れと感じています。

研修期間の最重要項目は、安全第一ですが本年度はコロナ感染防止が加わり、総務部での朝礼の際は、検温と体調確認が日課となりました。又、車両での移動時は、各窓を少し開ける、食事の際の離隔等々、常に意識する様に各研修対応者にも注意していました。

総務部の座学では、弊社が新入社員の入社前教育として実施する通信教育テキスト「ビジネス道」を使用して、学生と社会人の違い、社会人に求められる考え方・QCDS・5等を教育しています。

当社は都市ガス供給事業の一端を担っており、阪神淡路大震災の際には、全国の高圧ガス事業者よりたくさんの応援を頂き早期復旧に繋がった経緯があり、大規模災害発生時には大阪ガスを通じて全国各地に災害復興活動を展開しています。自然災害の脅威を学ぶ機会として、又、高確率発生予測の東南海地震と津波に備える為にするべき事を学ぶ為、「淡路北淡震災記念公園(野島断層保存館)」での研修をカリキュラムに入れています。

受入れも4年目となり、研修対応者も研修生の得意不得意や何に興味を持つかを把握し、研修内容の質の向上を図っております。今後も、経営理念である「信頼の絆」を研修者・高校進路指導部と深める事が出来ればと、気を引き締めて受入れを継続します。

気づき!

生活に欠かせない水などが、どのように届けられているかということ。



気づき!

現場では電気工事や配管工事などたくさんの担当の方が力を合わせていること。接合がしっかりできていないと、後々に大きなスレとなってしまうこと。



はきはきした姿勢に感心

～積算・図面作成・現場見学・配管施工の4作業を体験～ 有元温調株式会社

この度弊社では2名のインターンシップを受入れました。初日の自己紹介から始まり、研修中の受け答えも常にはきはきして大変感心しました。また、挨拶やマナーもしっかりしており日頃の学校指導がいかに徹底されているかが窺えました。

インターンシップの内容は主に積算、図面作成、現場見学、配管施工の4つでした。1つの内容を5日間通して集中的に行うよりも、できるだけ多種にわたる体験をした方がよりこの業種に興味を湧きやすいと思いこのような内容になりました。以前と異なり、今回は新型コロナウイルスの感染対策が必要のため、アルコールを常備し、マスク着用を徹底しました。積算では設計図の見方や図面からの拾い出しを、図面作成ではCADを使った簡単な配管図の書き方を指導しました。現場見学では試運転調整や風量確認の体験、配管施工では実際に簡単な配管作業を行いました。

初めは管工事や施工管理に関してもあまりイメージが湧かない様子で少し緊張も見られましたが、5日間の見学や体験を通して少しずつ打ち解けていくと同時に、業務内容も少し分って貰えたかと思えます。今回をきっかけに、この業界に少しでも興味を持ってもらえる嬉しです。

今回は指導をさせて頂く立場ではありましたが、実際には説明の仕方を工夫するなど、今後の人材育成に繋がることを多く学ばせて頂く良い機会になりました。

CADで図面を書き、それを見ながら実際に配管工事してみる

～インターンシップ受入れが楽しみに～

日新工業株式会社

本年度のインターンシップ生受入れは、弊社にとつて四回目となりました。回を重ねる毎に、いくつかの見学・実習はマニュアル化されつつあります。その中でも弊社の特色となるのは、自分でCADを使って図面を書き、その図面を見ながら実際に配管工事をやってみることです。

CAD実習で使用するソフトはJWWです。本年度は四日目の午前にCAD実習を、午後に配管実習を行いました。

高校ではAUTOCADを一年生の時に授業でしたが、あまり得意ではないと聞いていたので、実習では簡単な操作の反復を多く、できるだけ多くの達成感を味わってもらうことに重点をおいて指導しました。

配管実習では、あらかじめインターンシップのために材料を準備していたのですが、実習中に不足不備が出てくるというトラブルが発生してしまいました。本年度のインターンシップ生には大変申し訳ないながら、配管実習を最後まで完成し、水を流してみることが出来なかったです。

また、インターンシップ三日目には、お客様の協力もあり、一般住宅の台所水栓取替工事に同行することができました。職人さんの仕事を直接見ることができたので、自分達が実際に工具を使い配管工事の体験をしてみると、職人さんの仕事の素晴らしさも感じてもらえました。

インターンシップの受入れはとても大変ですが、私達の内情を広く理解し、知ってもらえる良い機会だと思います。担当者としては、回を重ねる毎にインターンシップ受入れが楽しみにかわっています。

最後に高校生の方々には、この体験を活かし、今後益々頑張ってください。

気づき!

東水環境センターで汚水からフロンガスをリンを取り出し、燃料や肥料にしていること。



協会事業

「学ぶこと」と「働くこと」をつなぐ

高校生インターンシップ 職業体験レポート

担当者からのメッセージ

令和2年11月9日(月)～13日(金) 兵庫工業高校 ※14名(8社)受入れを実施。
令和3年1月18日(月)～22日(金) 尼崎工業高校 ※受入れを中止。



予想外の進行に苦勞。いかに生徒が興味をもてる 実務体験型の研修を実現するかが課題

株式会社社長村商会

今回当社では二回目の受入れになりますが、実施して色々問題点があると感じました。受入れ成功には、企業側がいかに学生の満足する体験プログラムを組めるかが重要で、充実した体験につなげるためにも社内での綿密な打ち合わせが大切であると感じました。そして、実務体験型の研修で実際に仕事の一部を体験してもらう事は双方に大事であると感じました。

また体験してもらう内容も管理業務とその他業務、それぞれの体験が必要となるので、管理業務では、図面作成(CAD)実践なども組み入れ、事務業務では、模擬業務(又は実務業務)を計画しました。しかし、現場の状況次第で指導する社員の日程が変わるため、調整に苦勞しました。また研修が予定通りの時間に進まず、それを回避できるようサプの予定が必要であるが今年はコロナの影響もあり中々思い通りにならなかったのが本音です。それと実際に予定したプログラムを進める内に、受入れの生徒が本当に興味を持って参加しているのだろうか、入念な準備が出来ていないか、たのしみだろうか、と今回少し心配になりました。

今年の受入れで、「いかに学生が興味を持って参加してもらうか」が今後の当社の一番の課題と分かり、今後は受入れ体制をもっと煮詰め、意味ある体験を生徒に伝えられるよう受入れ側として更に努力していきます。

気づき!

大きな工場の中で安全確認、整理整頓、清掃を徹底して行っていること。現場での危険を回避するために、危険予知活動(KY活動)を入念に行っていること。



想像を超えるものを見せるカリキュラムに ～整然とした機械室の点検扉を開けると岩盤丸出しの巨大空間～

三神工業株式会社

今年も受入れの時期となり、カリキュラムを「考」しました。家族、知人等に従事者がいない限り現役高校生が建築設備業という業種を知りえるはずがないので、まずどんな職種なのか位は知って帰って欲しいと考えました。ポイント、飽きさせないこと。目新しいこと、興味を持ってもらう項目を選択することにしました。例年より、CAD操作等デスクワークを減らし、現場訪問・見学の時間を次の通り増やしました。

①CAD・・・短時間の作図で3次元CADを自分で作図できることを体験してもらった。

②見学1(供用中の建物)・・・整然と配管された機械室を見学した後、通常は滅多に観ることのできない空間を見せた。点検扉を開けると、建物背後の岩盤丸出しの巨大空間があり、その壁面での配管敷設状態の見学を行った。これは、かなり衝撃があったようだ。

③見学2(新築現場)・・・施工中の配管、ダクト等がイメージし易いよう、見学1の後、新築現場を見学した。

④見学3(目線を変えた見学)・・・ルーバー天井(スリット状で内部が見える)が設置されている個所で、日頃見えていない天井内部を見せた。

⑤見学4(解体現場)・・・解体・残置中の三宮駅前ビルの断面現物を見せ、スリッパ、電管、梁、柱、床、壁の関連を説明した。

日常生活での想像を超えるものを見せることで、彼らに多量の情報量を注入し興味を持たせることに注力しました。先生方にも建設中の建築設備を見学頂き、さらに理解を深めていただきたいと思います。

感想

新しい職業と出会い、新しい道を見つけることができました。最後に見たビデオでの「頼まれごとは試されごと」という言葉が印象に残りました。設備関係の仕事に興味を持つことができました。



新会員
だより

正会員
株式会社 エスアンドエムテクニカルサービス/
株式会社 神戸総合設備/株式会社 パンテック/
株式会社 前田管工
賛助会員
株式会社 川本製作所 神戸営業所



【会社名】株式会社 川本製作所 神戸営業所
【代表】神戸営業所所長 井上 一実
【所在地】〒652-0803
神戸市兵庫区大開通7-4-1 中田ビル101
TEL:078-576-8661 FAX:078-576-2048
【事業内容】汎用ポンプ製造並びに販売、建築設備用、農漁業用、家庭用・消費用・深井戸用・セットメーカー用

兵庫県空調衛生工業協会の皆様と共に産業界の発展と生活環境の向上に微力ながら貢献出来ればと思い、入会した所存です。弊社の始まりは一台の手押しポンプからでした。大正8年に創業した川本ポンプは、陶製・木製が主流だった当時、日本発の鑄鉄製手押しポンプを発売したことに始まり、以来約1世紀にわたって家庭用から超高層ビルまであらゆる場所に水を供給するポンプの製品開発を行ってまいりました。社会の様々なフィールドで活躍する川本の製品。人々の生活になくてはならないポンプを我々は誇りを持って造り続け、社員一人一人が社是である「信用第一」「品質本位」「旺盛なる責任」をモットーに、次の100年も給水インフラを支えるリーディングカンパニーとして、大切な「水」をお届けしてまいります。



【会社名】株式会社 エスアンドエム
テクニカルサービス
【代表取締役】松田 優司
【所在地】〒674-0065
兵庫県明石市大久保町西島678-1
TEL: 078-946-1113 FAX: 078-947-1291
【事業内容】公共土木工事・水道工事・住宅設備・リフォーム工事等

このたび、兵庫県空調衛生工業協会に新たに加わらせていただくことになりました松田と申します。微力ではございますが、当協会活動にお役に立てるよう努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。当社は平成12年に設立以来、明石市において給排水設備の引込工事等を得意とする会社です。これからもお客様に満足していただける様、安全に対する意識を常に持ち、高い品質の工事が提供できるよう尽力していく所存でございます。今後は兵庫県空調衛生工業協会の一員として、まだまだ学ぶ知識も多く、諸先輩方にはご迷惑をお掛けするかと存じますが、ご指導ご鞭撻いただけますようお願いいたします。

令和2年度
表彰関係

- 優秀施工者国土交通大臣顕彰：令和2年10月9日
播磨設備株式会社 山本 清一 様
- 兵庫県功労者表彰：令和2年11月18日
山本鑿泉水道株式会社 山本 繁之 様
- 建設事業関係功労者国土交通大臣顕彰：令和2年11月25日
伊丹産業電設株式会社 平岡 秀文 様



山本 清一 様



山本 繁之 様



平岡 秀文 様



藤岡 建也 様



長谷川 真也 様



岡田 正昭 様



鵜飼 徹 様



【会社名】株式会社 神戸総合設備
【代表取締役】黒崎 秀敏
【所在地】〒652-0845
神戸市兵庫区築地町3-28
TEL: 078-681-0578 FAX: 078-681-0579
【事業内容】総合建設業・空調和・冷暖房・換気・給排水衛生設備・電気工事等の設計施工および工事請負

私どもは2016年(平成28年)創業の若い会社ですが、以来、株式会社 神戸総合設備は兵庫県神戸市を中心に、空調・換気ダクト設備工事、給排水衛生設備工事、設計施工等を提供しております。明るい話題が少なくなり、世間では冬の時代とも言われていますが、私たちはお客様に支えられてここまでできることができ、どんな時もお客様のニーズにお応えすることが私の使命でもあり、感謝の意であると考えております。そのために、職人の技術を向上し続けられるよう、様々な研究・サポートをしていきたいと思ひ、この度、協会に加入いたしました。今後もお客様に満足していただける仕事をし、自分たちが納得していく施工・管理をしていきたいと思っております。



【会社名】株式会社 パンテック
【代表取締役】村上 貢
【所在地】〒679-1201
多可郡多可町加美区豊田1676
TEL: 0795-20-1216 FAX: 0795-20-1282
【事業内容】土木一式工事、設備一式工事、空調和設備工事、給排水・給湯・衛生設備工事、ガス配管設備工事

当社は、2009年(平成21年)に創業、2012年(平成24年)に法人化し現在に至っています。小規模ながら「顧客に信頼され愛される企業」を経営理念とし、知識と経験と豊富な技術力で安全を第一に顧客に満足の得られる施工を目指して空調設備工事を主に行っています。事業は、地元北播磨及び丹波地域を中心に公共・民間工事を手掛け地域に貢献できるように日々邁進しています。本協会への入会を機に今後より一層、管工事業を通して地域に貢献して参る所存であります。



【会社名】株式会社 前田管工
【代表取締役】前田 篤也
【所在地】〒673-0860
明石市朝霧東町1丁目5-28
TEL: 078-926-1967 FAX: 078-926-1968
【事業内容】機械器具据付及び配管工事一式、排水工事、地盤改良工事等各種土木事業、消防設備工事及び点検業務

弊社では、給排水衛生設備、空調設備、消火設備から蒸気・エア一等の様々な配管工事を施工しています。加えて、昨年九月には機械器具設置工事業の建設業許可を取得しました。皆様とも一緒にお仕事ができる機会をいただければ幸いです。また、三年間技能実習生として、共に働いてきた外国人従業員が「特定技能一号」として働けるよう、現在手続き中です。人材不足が問題となるこの業界で、外国人材の活用を検討をされている会員様がいましたら、お力になれるかと存じます。入会時期と重なり、新型コロナウイルスの感染拡大と、建設業界においても様々な困難が生じる中、皆様の一員となれたことを、とても心強く存じます。

管の接合の不備が完成時に大きなズレとなる事を体感

～熱心な質問に身が引き締まる～

株式会社西尾設備

項目	内容
11月(月)	9:00～ 12:00 朝礼・安全教育(新入社員) 12:00～ 13:00 朝礼・安全教育(新入社員) 13:00～ 18:00 朝礼・安全教育(新入社員)
11月(火)	9:00～ 12:00 朝礼・安全教育(新入社員) 12:00～ 13:00 朝礼・安全教育(新入社員) 13:00～ 18:00 朝礼・安全教育(新入社員)
11月(水)	9:00～ 12:00 朝礼・安全教育(新入社員) 12:00～ 13:00 朝礼・安全教育(新入社員) 13:00～ 18:00 朝礼・安全教育(新入社員)
11月(木)	9:00～ 12:00 朝礼・安全教育(新入社員) 12:00～ 13:00 朝礼・安全教育(新入社員) 13:00～ 18:00 朝礼・安全教育(新入社員)
11月(金)	9:00～ 12:00 朝礼・安全教育(新入社員) 12:00～ 13:00 朝礼・安全教育(新入社員) 13:00～ 18:00 朝礼・安全教育(新入社員)

弊社の受入れは今回で三回目でしたが、今回はコロナ禍での受入れであったため、新型コロナウイルス感染症予防に十分配慮しながら主に次のプログラムの注力ポイントで体験をしてもらいました。

初日(送り出し教育/設備工事)最初にヘルメット及びフルハーネスの安全帯の装着体験をしていただき、安全の重要性や設備工事とはどのようなものなのかを学んでもらいました。

二日目(CAD体験/配管施工体験)はCADで施工図の作成を行い、その図面を基に実際の配管作業を体験してもらいました。管の接合の不備が後々完成時に大きなズレとなってくる事を体感できたようでした。

三日目(配管耐圧試験/現場見学)は前日に作成した配管の耐圧試験を行った後、当社施工中の現場見学に行きました。現場でのそれぞれの持つ役割や報告・連絡・相談の重要性を感じることができたようでした。

四日目(商社及びシヨールム見学)は商社及びシヨールムの見学を行い、設備機器や配管材料等について学んでいただきました。同じような外観の材料でも、使用する目的が異なることを発見できたようでした。

五日目(体験報告書作成)はこれまでの体験を振り返り、レポートをまとめて、発表してもらいました。

期間中は、非常に真面目に取り組んでおられ、わからないことも熱心に質問をしていただき、こちらも身の引き締まる思いの1週間でした。今後に向けてより良い体験プログラムを整えたいと思っております。

PE管融着作業からガスメーター交換・給排水工事まで学ぶ

～多種多様な物品を記憶する資材部担当者に驚愕～

モンノ株式会社

今回、一人のインターンシップの高校生が来ました。平成28年の受入れ以来で4年ぶりとなり、どのように接して指導すればよいか戸惑いました。ですが、とても素直な好青年が来ましたので、こちらの意向をすくなくみ取り、どのような事でもメモを取ったりと指導者としては大変教え甲斐がありました。都市ガスのポリエチレン管を接続する実習では、日頃、接続作業を監督する者が指導者となつたせいかな慣れない作業で緊張する場面もありましたが、生徒さんの落ち着いた行動により助けられました。日頃、学業で材料を使つて一つの物を作ったりする喜びもあるでしょうが、こうした配管と配管を接続し、実生活に役立つ物を作る喜びというのは格別の物ではなかったでしょうか。

高校生からのメッセージ
「インターンシップ実習を終えて」

1日目は安全教育訓練のDVDなどを見たのですが、どこでも安全にやるのが大切で何事にも慎重にやる事が大事だと思いました。

2日目はPE管の融着作業をしました。細い配管であれば1分の融着時間なのですが大きい配管であれば30分かかると聞き大変驚きました。

3日目はCADを使つて製図をしました。一から教えてもらつて製図をしたので完成した時の達成感はとても嬉しかったです。日頃、製図をされている方はすごいなと思いました。

4日目はガスメーターの取替現場に行きました。取替作業はとても素早く、手慣れた感じでした。最終日は給排水の工事現場に行きました。水道配管は身近にあるものなのに全然気にしてなかった事が分かりました。また、資材部の教育では倉庫の担当者は取り扱う物が数多くあるのに、どこにしまつてあるかをすべて覚えていけると聞き驚きました。

今回の体験は将来絶対に必要になる時がきます。体験できてとても良かったです。一週間ありがとうございました。

どのCADでも使えるように

～触れたことのない実習生も使えるように～

株式会社山口商会

弊社でのインターンシップ生受入れは今回で六回目、その中で兵庫工業高からは5回目の受入れになります。

弊社では毎年CADによる申請図面作成を中心に、間に通常業務への同行や各施設等の見学を挟む形で日程を組んでおります。本来は現場見学も毎年組み込みたいのですが、安全面から現場サイドの受入れ可能な物件が限られており、タイミングが良ければ現場見学できるというのが現状となっております。

弊社が使用するJWCADはフリーソフトウエアで使用する会社も多く、兵庫工業高ではAUTOCADを使用されていると聞き、CADによる図面作成を中心としています。AUTOCADと操作性がかなり異なるJWCADを経験する事で就職後に両方が使えるという気持ちの余裕ができるかと考えています。

昨年までと異なり、今年はCAD自体触れたことのない総合理化学科の生徒さんのため、操作やレイアウトについての基本から学んでもらいました。初めて触れるCADは難しかったと思いますが、最終的にはこちらの予定以上に多くの図面を完成させるまで頑張ってくれました。

また、今年を受入れ可能な現場があり、現場見学に行くことが出来ました。普段使っている空調衛生設備が見えない部分でどうなっているか、どのようにして使えるようになっていくのかを天井内や壁の中の配管を見ながら説明すると、興味深そうに聞いていました。また、CAD研修で出てきた配管やバルブ等を実際に見てもらつた事で図面と実際の現場の配管との関係性を感じてもらえたと思っております。

今回の体験により将来の選択肢が少しでも広がってこれると嬉しいです。

